

改訂版【JAS木質ペレット品質規格】品質基準（2023.4.1改訂）

		JPA(一社)日本木質ペレット協会品質基準 2023年4月1日改正版		
項目	単位	A1	A2	B
原料の起源と由来		樹幹木部、全木(根・枝葉・末木を除く)。 化学処理されていない木材加工工場からの副産物または残材、樹皮。		
直径 D	mm	D06, 6±1 ; D08, 8±1		
長さ L	mm	3.15<L≤40, L>40mmは1w-%、最大長は45mm以下 ※c		
かさ密度 BD	kg/m ³	600≤ BD ≤750 ※g		
水分(湿量基準含水率) M	w-% 到着ベース	M≤10		
微粉率 F	w-% 到着ベース	F≤1.0 ※e		
機械的耐久性 DU	w-% 到着ベース	D006:DU≥98.0 D008:DU≥97.5	DU≥97.5	DU≥96.5
発熱量 Q	高位発熱量	記載なし		
	低位発熱量	Q≥16.5(又はQ≥4.6kWh/kg)		
ペレット温度		記載なし		
添加物(バインダーなど)	w-% 到着ベース	≤2(種類及び量を記載) ※f		
灰分 AC	w-% 無水ベース	A≤0.7 ※d	A≤1.2 ※d	A≤2.0 ※d
硫黄 S	w-% 無水ベース	S≤0.04	S≤0.05	
窒素 N	w-% 無水ベース	N≤0.3	N≤0.5	N≤1.0
塩素 Cl	w-% 無水ベース	Cl≤0.02		Cl≤0.03
灰の溶融挙動		記載することが望ましい※h		
重金属	ヒ素 As	mg/kg 無水ベース	≤1	
	カドミウム Cd	mg/kg 無水ベース	≤0.5	
	全クロム Cr	mg/kg 無水ベース	≤10	
	銅 Cu	mg/kg 無水ベース	≤10	
	水銀 Hg	mg/kg 無水ベース	≤0.1	
	ニッケル Ni	mg/kg 無水ベース	≤10	
	鉛 Pb	mg/kg 無水ベース	≤10	
	亜鉛 Zn	mg/kg 無水ベース	≤100	
		注a) 原料の起源と由来はISO 17225-1:による 注b) ペレットの化学的パラメータの全てが明らかに制限内にある場合、及び/又は濃度が懸念されるには小さい場合、未利用木材から製材及び木材製品を製造する際、製材所などで使用される接着剤、グリース及びその他の製品用添加物は無視できる。 注c) 40mmより長いペレットの量は1w%にできる。最大長は45mm以下でなければならない。円孔径3.15mmのふるいに残るペレットは3.15mmより長いものとする。長さが10mm以下のペレット量(w-%)を記載すること。 注d) 住宅用燃焼器及びストーブでは、灰分<0.5%を推奨する。 注e) バルク輸送の工場出口では積み込みする時、小袋(最大20 kg)及び大袋[こん(梱)包時]は袋詰めする時又はエンドユーザーへ出荷する時に行う。 注f) 製造、搬送又は燃焼を助けるための添加剤の種類[例えば、プレス(展圧)添加剤、スラグ生成抑制防止剤又はデンプン、トウモロコシ粉、ジャガイモ粉、植物油、リグニンのような他の添加剤]。 注g) かさ密度の実際の値を記載することを推奨する。これは、自動の空気調節機構を持たない住宅用燃焼器やストーブではかさ密度の変動に敏感なためとくに重要である。かさ密度の最大値は750 kg/m3である。 注h) 酸化条件における全ての特性温度(灰収縮開始点【SST】、灰軟化点【DT】、灰融解(半球)点【HT】及び灰溶流点【FT】)を記載することを推奨する。なお灰化温度が550℃以外の場合はその灰化温度を記載することが望ましい。		

JAS・JPA・ENplus・最新ISOの各規格を比較し、他の規格と異なっている要素についてコメントする。		JAS品質規格:業務用及び住宅用等級別木質ペレットの仕様
長さ L	mm	各クラスとも最大長は45mm以下
かさ密度 BD	kg/m ³	—
機械的耐久性 DU	w-% 到着ベース	—
発熱量 Q	高位発熱量	—
	低位発熱量	—
ペレット温度	℃	—
灰分 AC	w-% 無水ベース	※d 灰分測定温度550℃
灰の溶融挙動	℃	記載することが望ましい
粗いペレット微粉, CPF	質量%	—
粒子密度, DE	g/cm3	—